

広報課長
秘書課長
市長公室長 殿
総務課長
議会事務局長

新規講座

一般社団法人 日本経営協会
理事長 平井 充則

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

危機管理広報スキルアップ講座
～事件事故・失言・ハラスメント・ネット炎上等リスクへの備えと対処～
<2019年9月9日(月)・10日(火)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会事業活動には、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今では、失言やハラスメント、SNSへの不適切な書き込みなどで、公的機関や首長のみならず現場担当者も世間から非難されるリスクが高まっております。事件・事故や自然災害が生じた際の対応はマスコミや住民から厳しく見られており、いわゆる「炎上」につながることも少なくありません。

様々なトラブル発生時に、迅速かつ的確な対応を行うことは住民の信頼回復・向上に不可欠です。また、マスコミを理解し記者が発信しやすい情報提供を行うことと、同時に日ごろから良好な関係を構築することは過剰な報道や攻撃を避けるために重要となってきます。

本講座では、広報とリスクマネジメントの基礎から報道対応の基本技術・記者との付き合い方等までわかりやすく解説いたします。また、記者会見実習を通して危機管理広報について実践的に学び、習得いただけます。時節柄公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係各位多数のご参加をお薦め申し上げます。

敬 具

記

<p>日 時：2019年9月 9日(月) 13:00～17:00 9月10日(火) 9:30～16:00</p> <p>講 師：有限会社エンカツ社 代表取締役社長 宇於崎 裕美氏</p> <p>会 場：日本経営協会内専用教室 (東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8)</p> <p>参加料：会員(1名) 29,000円 (負担金) 消費税 2,320円 } 31,320円 一般(1名) 32,000円 消費税 2,560円 } 34,560円</p>	<p>(12:00から受付)</p> <p>★JR代々木駅の正面(西口)改札を出て、宝くじ売場と富士そばの間の道を進んで下さい。明治通りを原宿方面に進み、コンビニ・ローソンの先のビルです。</p> <p>〈会場案内図〉</p>
---	---

申込方法：①FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。
②Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。
・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
・お申込みは開催日の3営業日前までお願いいたします。
・本講座は、定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3営業日前まで)にご連絡下さい。
開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他：参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み
お問合せ先 一般社団法人 日本経営協会
(お電話でのお問合せは月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いします)

東京本部 公務研修グループ
〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130
E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

▶プログラム◀

1. 危機管理広報の基礎
2. 公的機関ならではの難しさ
 - ・マスコミ対応
 - ・ネットでの情報発信
 - ・公務員に対する世間の見方
3. 事件・事故・自然災害発生時の報道対応
 - ・Bad News は Good News
 - ・クライシスコミュニケーションの本質
 - ・マスコミの非難の予先
4. インターネットでの情報発信の注意点
 - ・公式アカウントの活用法
 - ・首長や職員個人のSNS炎上防止と炎上後の対応策
5. 記者気質と行動様式
 - ・記者は何を求め、どのように行動するのか
 - ・記者と電話で話すときの注意点
 - ・記者クラブ以外の記者への対応方法
6. マスコミとネットの違いと関係
 - ・「マス」と「ソーシャル」の違い
 - ・マスコミ報道とSNSの相互作用
7. 報道対応技術の基本
 - ・メッセージの構築・整理
 - ・資料作成
 - ・発信方法・ツールの選択
 - ・問い合わせ対応
8. 模擬記者会見（基礎実習・応用実習）
 - ・事件・事故、失言、ハラスメント、自然災害等問題の発覚から発表、問い合わせ対応までを体験
 - ・ロールプレイ（発表者役、記者役）によるシミュレーション
9. 課題共有と解決へのヒント
（グループディスカッション・質疑応答）
 - ・参加者同士での意見交換
 - ・講師からのアドバイス

講師紹介

有限会社エンカツ社 代表取締役社長

うおざき ひろみ
宇於崎 裕美 氏

横浜国立大学工学部安全工学科卒。つくば科学万博、株式会社リクルートを経て、米国最大のPRコンサルティング会社パーソン・マーステラの日本支社に十年勤務。1997年、有限会社エンカツ社を設立。同社代表取締役社長

【自治体関連活動実績】

- ・2007年～2008年、横浜市西区の広報プロジェクト「わがまち西区売り込み隊」広報アドバイザー
- ・2016年～2017年、多摩市広報・PRアドバイザー

【現在の活動】

- ・東京消防庁広報広聴アドバイザー
- ・総務省消防庁消防大学校 講師
- ・横浜国立大学 非常勤講師
- ・失敗学会、安全工学会、日本広報学会、人工知能学会会員

【著書】

『リスクコミュニケーションの現場と実践』『不祥事が起こってしまった！-企業ブランド価値を守るクライシス・コミュニケーション』『クライシス・コミュニケーションの考え方、その理論と実践』（いずれも経営書院）、『人と組織の心理から読み解くリスク・コミュニケーション 対話で進めるリスクマネジメント』（共著、日本規格協会）等

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60012831 『危機管理広報スキルアップ講座』参加申込書

※NOMA記入

--	--	--	--	--	--	--	--

2019.9/9～10

会員 一般（該当欄にレ印）

役所名	電話	()	内線	<ご連絡担当者>
	FAX	()		所属
所在地	〒			フリガナ 氏名
フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	経験 年数	年 ヶ月	メールアドレス
フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	経験 年数	年 ヶ月	<通信欄>
フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	経験 年数	年 ヶ月	

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □不要

（経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください）